



# 令和2年度終業式講話

3月22日（月）

今年度もあとわずかとなりましたが、昨年から続く新型コロナウイルス感染症の影響は今も私たちの生活に暗い影を落としています。

1年生は、入学式以外は、新たな友人作りや部活動などに挑戦しようと心を弾ませていたはずが、中途半端な気持ちのまま過ごす時間が続き、下妻一高生としての自覚を深めるような行事を十分に経験できませんでした。

2年生は、学校の中核として、学習や運動に磨きをかけ始めようとする出鼻を挫かれました。特に高校生として最大の思い出作りとなるはずだった修学旅行が中止となったことで非常に残念な思いをさせていただきました。

しかし、様々な困難があったにも関わらず、学習や部活動等において例年と比べても引けをとらない結果を出しています。各部活動で関東大会や全国大会に駒を進めた活躍は見事でした。改めて下妻一高生である皆さんの底力を感じた一年でもありました。卒業した3年生は、共通テスト元年という難しい年に、国公立大学に現役だけで、しかも前期だけの結果で100名以上の合格者を出しています。本当に素晴らしいと思います。

これまで本校でも多くの生徒が、新型コロナウイルスに対する不安で登校できなかったり、感染予防のために、出校停止を求めたりしてきました。協力ありがとうございました。これからもお互いを思いやりながら、学校生活を維持できるようにしていきましょう。

今回の経験でも感じたことですが、起きてしまったことや終わってしまったことは、無かったことにはできないし、やり直すこともできません。事実は事実として受け止める勇気や覚悟が求められます。その上で今できること、これからやるべきことを考えてみませんか。

当たり前にあると思ったことは、実は当たり前でなく貴重なものだということ、必然と思えたものは、幸運なる偶然の積み重ねであることへの感謝をしたいと思います。

自分のことを客観的に見つめ、改善する方向へ歩み出す、もしどうしても前に進めなければ、立ち止まることや人を頼ることもあっていいと思います。

令和4年から始まる附属中学校のキャッチコピーは、“One Step Forward：一歩先の自分へ”としました。これは、皆さんにも目指して欲しい心構えです。失敗したら、それで終わりではない。何度でも立ち上がれば良い。来年度が皆さんにとって、下妻一高にとって、一歩先へ踏み出す年になることを期待します。有意義な春休みを過ごしてください。

## 【学習館前の桜が今年もほぼ満開となりました。】

本校で一番先に咲く「学習館前の桜」です。

卒業生たちの新たな旅立ちを祝い、新入生を心待ちにしています。

